

国土交通大臣賞

## 特定非営利活動法人 AKITEN

◆所在地：東京都八王子市

◆活動概要：商店街の活性化を図るため、地域の事業者や各種クリエイターとの連携によって、八王子駅周辺の中心市街地において、空きテナントの新たな活用方法の提案やクリエイターの育成活動、市内産業の再生活動などの活性化事業に取り組んでいます。

◆選定理由：多くの専門家と住民が連携し、改装した空きテナントにおいて次のテナントが入るまでの間、暫定的な空間活用を行うことによる、新たなテナント契約につなげる仕組みづくりを行うほか、まちづくりの新たなリーダーやクリエイターの育成活動を行っていることが、まちの活性化や賑わいの創出に貢献しており、先導性、公益性に優れた取組であると高く評価されました。



▲空きテナント×アートギャラリー



▲染色業者と連携して参加者自身が浴衣生地を染めるワークショップ

審査委員長賞

## 特定非営利活動法人 小樽民家再生プロジェクト

◆所在地：北海道小樽市

◆活動概要：小樽への移住希望者に対して、古民家を中心とした空き家情報を提供するほか、移住者と市民の交流の場の提供を行い、古民家を背景としたまちなみの保存、まちの活性化に取り組んでいます。

◆選定理由：歴史的建造物所有者や行政等と連携し、市民主体のグループによる歴史的建造物群の再生に向けたマッチングや石蔵や古民家、空き家の活用を促す取組を行うなど、地域への魅力向上に貢献しており、公益性の高い取組であると評価されました。



▲再生された歴史的建造物



▲小樽石蔵シンポジウム

## 審査委員長賞

### 特定非営利活動法人 都市住宅とまちづくり研究会

◆所在地：東京都千代田区

◆活動概要：住民主体の共同建て替えやコーポラティブハウス事業などにより、住まいを核としたまちづくりに取り組んでいます。東日本大震災発生後は、宮城県東松島市において復興事業の支援を行っています。

◆選定理由：法人設立以降に培った住民主体のまちづくりの経験を活かし、宮城県東松島市「あおい地区まちづくり整備協議会」において、住民主体のまちづくりを支援するためのワークショップや広報活動を行うことにより、被災地の復興に貢献しており、公益性の高い取組であると評価されました。



▲「あおい地区まちづくり整備協議会」設立総会



▲あおい地区「まちびらき」イベント

## 審査委員長賞

### 特定非営利活動法人 まちづくりスポット

◆所在地：岐阜県高山市

◆活動概要：誰でも気軽にまちづくりに参画する機会を創出するため、交流スペース「まちスポ飛騨高山」を活動拠点として、市民活動の情報発信や地場産物や手作り小物を販売するマルシェを行うほか、若者が集まる交流会など様々な取組を行っています。

◆選定理由：地元企業や行政、ボランティア等との積極的な連携により、市民活動の情報発信や地域のまちづくりに関する相談のほか、介護相談にも応じるなど幅広い世代に関わる取組を行っていることが、少子高齢化に対応したまちづくりに貢献しており、多様性、公益性の高い取組であると評価されました。



▲イベントに活用されている  
「まちスポ飛騨高山」



▲若者が集まる交流会

## 総 評

これからの民間施設及び都市施設を活用した地域のまちづくりにおいては、まちづくり法人が中心となって、事業収入を確保しながら、その経営能力やコミュニティのつながりを活かして、持続的にまちづくりを推進することが期待されています。

第7回目となる今回のまちづくり法人表彰においては、まちの活性化や魅力創出に貢献した取組等、全国から多くの優れた取組の応募がありました。

厳正な審査の結果、1件の「国土交通大臣賞」を選定するとともに、今後の更なる活動の発展を期待する取組について審査委員会から3件の「審査委員長賞」を選定することといたしました。今回受賞された取組は、先導性・公益性・多様性・継続性・効果の観点から、総合的に優れており、全国のモデルとなるような取組として審査委員会の高い評価を得たものです。

今回惜しくも受賞に至らなかった取組を含め、次回もより多くの優れた取組が応募されることを期待しております。

### 《まちづくり法人表彰等審査委員会》

委員長	奥野 信宏	(名古屋都市センター所長)
委員	小林 賢弘	((株)日本政策投資銀行地域企画部課長)
委員	佐藤 滋	(早稲田大学大学院教授)
委員	村木 美貴	(千葉大学大学院工学研究科教授)

(敬称略、五十音順)